

製品名: SPI1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03170**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ハムスター、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.54mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 31 kDa; Observed MW: 31 kDa

抗原情報

遺伝子名	Spi1
別名	Dis1; PU.1; Dis-1; Sfpi1; Spi-1; Sfpi-1; Tcfpu1; Tfpu.1
遺伝子 ID	20375.0
SwissProt ID	P17433
免疫原	マウス PU.1/Spi1 の合成ペプチド

背景

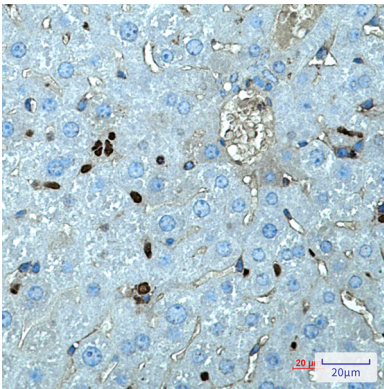
リンパ球特異的エンハンサーとして作用するプリンリッチ DNA 配列 (5'-GAGGAA-3') である PU ボックスに結合します。このタン

パク質は転写活性化因子であり、マクロファージまたは B 細胞の分化または活性化に特異的に関与している可能性があります。また、RNA にも結合し、pre-mRNA スプライシングを調節する可能性があります。

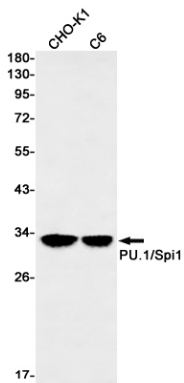
研究分野

免疫学

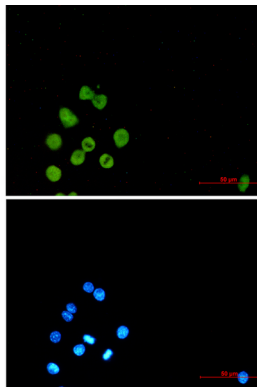
画像データ



SPI1 抗体を使用したパラフィン包埋マウス肝臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



PU.1/Spi1 抗体を使用した CHO-K1、C6 溶解物中の PU.1/Spi1 のウエスタンブロット分析。



PU.1/Spi1 抗体および DAPI (青) を用いた Raw264.7 における PU.1/Spi1 (緑) の免疫細胞化学分析